

1. 都市再生整備計画（都市構造再編集中支援事業）について

都市の限られた資源を効果的・効率的に活用し、期間と区域を定めた一体的・集中的なまちづくりを推進するため、「立地適正化計画」に基づき、地方公共団体等が行う都市機能や居住環境の向上に資する公共公益施設の誘導・整備、防災力強化、災害からの復興、居住の誘導の取組等に対し集中的な支援を行い、各都市が持続可能で強靱な都市構造への再編を図ることを目的とする事業です。

本事業では、継続的な都市再生を推進するため、事前にまちづくりの目標、目標を定量化する指標とその数値目標を設定し、事後評価において数値目標の達成状況等の確認と事業の成果を踏まえた今後のまちづくりの方策などを作成することになっています。

2. まちづくりの課題と目標

まちづくりの課題

- ・ 府内城跡や大友氏遺跡などの歴史的資源を生かした観光拠点の整備、拠点間を連絡する道路の景観形成及び徒歩・自転車など多様な交通手段による回遊性の向上が求められる。
- ・ 中央通りを挟む東西商業地の連携強化による中心市街地の活性化が求められる。
- ・ JR大分駅周辺の連続立体交差化に伴う、鉄道残存敷の有効利用が求められる。
- ・ 都市機能や施設の充実に伴い、中心市街地の魅力回復やさらなる賑わい創出が求められる。
- ・ 来街者に対する適切な案内と情報提供の充実が求められる。
- ・ 歴史的風致を活かした中心市街地の回遊性の向上が求められる。
- ・ 西大分駅周辺地区は、観光や交通における玄関口としての役割を期待されながら十分な機能が果たされていない。



まちづくりの目標

大目標：市民が地域に誇りを持てるまちづくり

目標1. 人にやさしく美しい都市空間の整備

目標2. 歴史的・自然的な環境景観の保全・形成

3. 計画概要

基幹事業					
事業	事業箇所名	規模	交付期間内事業期間		交付対象事業費 (百万円)
			開始年度	終了年度	
道路	市道 新町王子南線道路整備事業	L=170m	R3	R5	313.2
地域生活基盤施設	大分市中心市街地案内サイン整備事業	N=23基	R3	R5	25
	西大分駅前広場リニューアル事業	面積≒2,700㎡	R4	R6	60.5
高質空間形成施設	荷揚町いこい広場	面積≒490㎡	R4	R5	35.2
	日豊本線西側鉄道残存敷整備事業	L=1,200m	R2	R6	557.2
高次都市施設	市道 府内11号線修景整備事業	L=400m	R2	R5	431.5
	都市計画道路 県庁前古国府線修景整備事業	L=277m	R3	R3	51
	大分城址公園整備活用事業	L=400m	R2	R5	83.5
誘導施設	市道 中央通り線歩道修景整備事業	L=425m	R6	R6	422
	荷揚町小学校跡地複合公共施設整備事業	面積≒10,261㎡	R4	R5	889.2
合計					3,183.3
提案事業					
事業	事業箇所名	規模	交付期間内事業期間		交付対象事業費 (百万円)
			開始年度	終了年度	
地域創造支援事業	祝祭の広場利活用促進事業	-	R2	R6	83.3
	歩きたくなるまちづくり検討事業	-	R5	R6	3.1
事業活用調査	立地適正化計画改訂検討	-	R4	R5	12.8
	通行量調査	-	R2	R6	22.5
	事後評価調査	-	R6	R6	5
合計					126.7
事業費合計					3,310

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	従前値	目標値	
				基準年度	目標年度
主要文化交流施設年間利用者数	人	ホルトホール・コンパルホール・アートプラザ・大分県立美術館・大分市美術館の利用者数	3,933,873	平成30年	4,300,000 令和6年度
歩行者通行量	人	毎年実施している「大分市中心部における通行量調査」の土、日曜日の中央町・府内町を往来する歩行者通行量	27,946	平成30年	40,800 令和6年度
憩い空間の充実度	%	計画区域内で、公園、休憩所、ベンチなど「憩い空間の充実」について、「大変満足」「満足」と答えた人の割合	43.7	令和2年度	50 令和6年度

4. 事業箇所図



荷揚町小学校跡地複合公共施設整備事業



大分市中心市街地案内サイン設置事業



県庁前古国府線修景整備事業



西大分駅前広場リニューアル事業



市道 新町王子南線道路整備事業



日豊本線西側鉄道残存敷整備事業



大分城址公園整備活用事業

5. 数値目標の達成状況

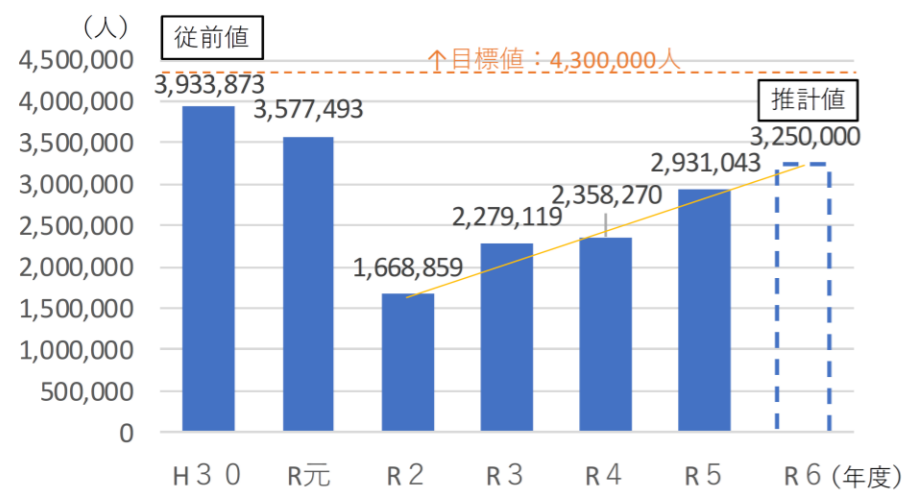
指標1 「主要文化交流施設年間利用者数」

■定義
 大分市中心市街地地区にある主要文化交流施設5施設（ホルトホール、コンパルホール、アートプラザ、大分県立美術館、大分市美術館）の年間利用者数

■目標と指標及び目標値の関係性
 目標①「人にやさしく美しい都市空間の整備」の指標として用いる。
 各施設は、本計画区域に分散して立地しているため、利用者数の増加は、市内外から中心市街地を訪れた施設利用者数の回遊性の向上も示す指標となる。

■評価値
 従前値：3,933,873人（平成30年度）
 目標値：4,300,000人（令和6年度）
 評価値：3,250,000人（令和6年度（推計値））
 【達成状況：△】

主要文化交流施設年間利用者数



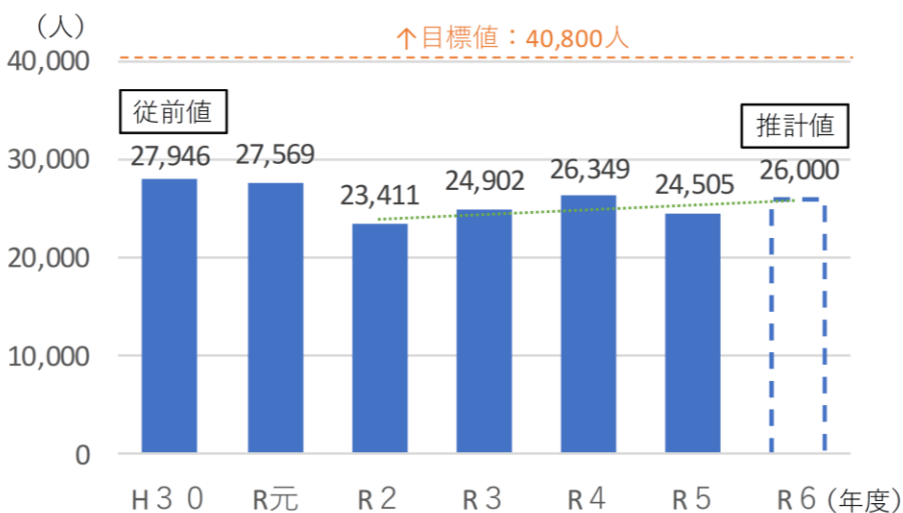
指標2 「歩行者通行量」

■定義
 中心市街地歩行者通行量調査の中央町・府内町間を往来する歩行者通行量（土日集計）。

■目標と指標及び目標値の関係性
 目標②「歴史的・自然的な環境景観の保全・形成」の指標として用いる。
 南北軸と連携して歴史的背景を踏まえた東西軸を整備することにより、魅力的な都市空間の創出による回遊性の向上を示す指標となる。

■評価値
 従前値：27,946人（平成30年11月）
 目標値：40,800人（令和6年11月）
 評価値：26,000人（令和6年度（推計値））
 【達成状況：△】

歩行者通行量



指標3 「憩い空間の充実度」

■定義
 都市再生整備計画区域内居住の18歳以上の方を対象としたアンケート調査による、公園、休憩所、ベンチなど「憩い空間の充実度」について、「大変満足」「満足」と回答した人の割合。

■目標と指標及び目標値の関係性
 目標①「人にやさしく美しい都市空間の整備」の指標として用いる。
 歩行者や自転車に配慮した空間を整備することで、人にやさしく美しい都市空間を形成し、憩い空間の充実度を上昇させることを目的とする。

■評価値
 従前値：43.7%（令和2年度）
 目標値：50%（令和6年度）
 評価値：36.7%
 【達成状況：△】

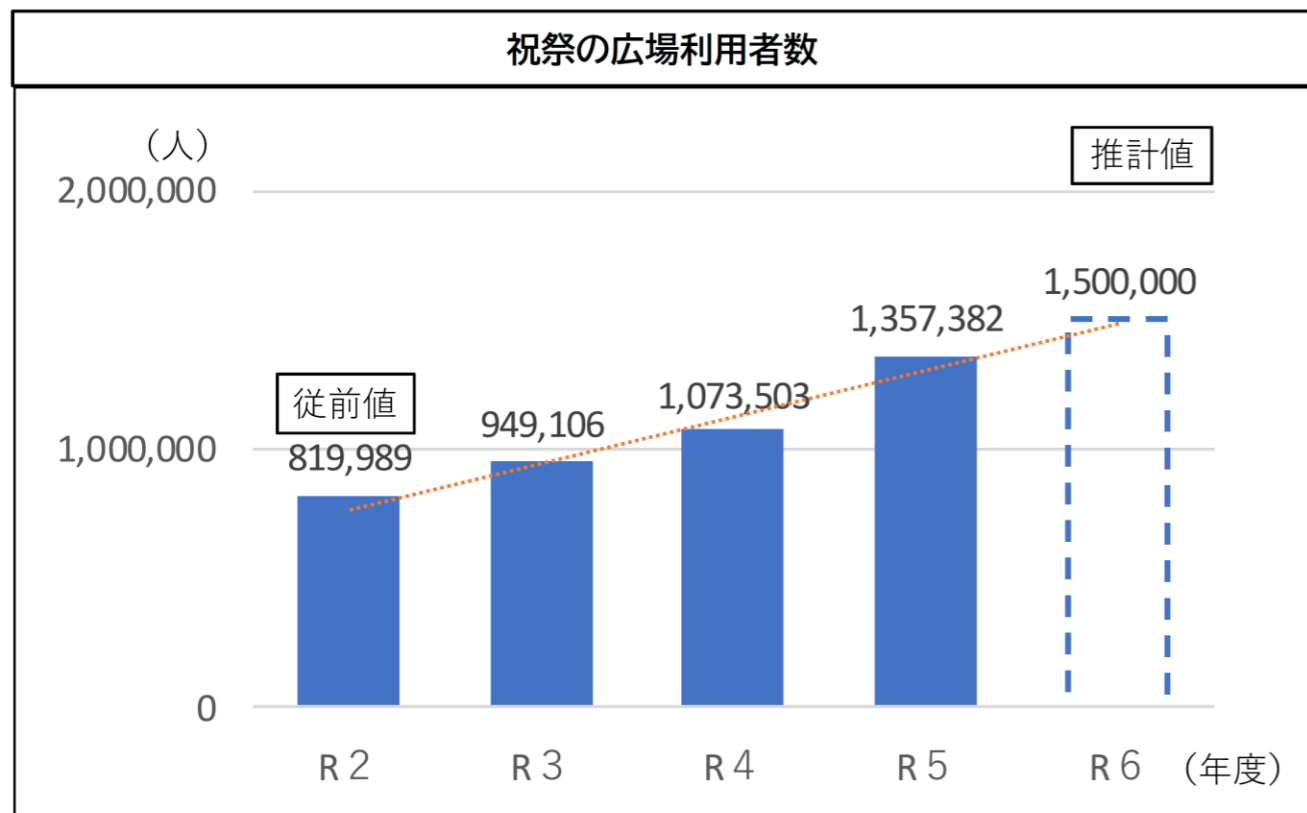
※評価値詳細
 大変満足 9.0%
 満足 27.7%
 普通 44.4%
 やや不満 15.3%
 不満 3.6%

6. その他の数値指標による効果発現状況

その他指標 1「祝祭の広場利用者数」

- 定義
祝祭の広場の利用者数の計測による。
- 目標と指標及び目標値の関係性
目標①「人にやさしく美しい都市空間の整備」の指標として用いる。
指標1「主要文化交流施設年間利用者数」の達成が見込まれないため、効果発現の状況を表すその他数値指標として設定する。祝祭の広場に設置している入場者カウンターにより、利用者数を計測する。過去4年間（令和2年度～令和5年度）の年間利用者数の傾向から、令和6年度の年間利用者数を推計する。これを、事業完了時の年間利用者数とし、評価値（見込み）とする。
- 評価値
従前値：818,989人（令和2年度）
目標値：（未設定）人（令和6年度）

評価値：1,500,000人（令和6年度（推計値））
【達成状況：-】



その他指標 2「大分駅における乗車人数」

- 定義
大分駅における乗車人数
- 目標と指標及び目標値の関係性
目標②「歴史的・自然的な環境景観の保全・形成」の指標として用いる。
指標2「歩行者通行量」の達成が見込まれないため、効果発現の状況を表すその他数値指標として設定する。平成30年を従前値とし、過去10年間（平成26年度～令和5年度）の乗車人数の傾向から、令和6年度の乗車人数を推計する。これを事業完了時の乗車人数とし、評価値（見込み）とする。
- 評価値
従前値：6,959,455人（平成30年度）
目標値：（未設定）人（令和6年度）

評価値：6,500,000人（令和6年度（推計値））
【達成状況：-】

